

第10回 脳と睡眠懇話会

「レストレスレッグズ症候群 (RLS) と周期性下肢運動 (PLMS)」

日時 : 2009 年 11 月 18 日 (水) 18:00 ~ 20:00

場所 : 西日本総合展示場 新館(AIMビル) 3階 311・312・313 会議室(D会場)

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号

座長 : 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

1. RLS の基礎知識と臨床の問題

小栗 卓也 (名古屋市立大学 神経内科)

2. なぜ RLS/PLMS とひとくりにされるようになったのか?

— 混乱の過程を歴史的に検証する —

立花 直子 (関西電力病院 神経内科・睡眠関連疾患センター)

3. RLS/PLMS の etiology - pathophysiology

宮本 雅之 (獨協大学 神経内科)

4. まとめと質疑応答

RLS/PLMS は、sleep disorders と movement disorders の境界に位置づけられる疾患(病態)であり、日本においては、どの科で診療すべきかどうかも十分に確立していません。また、マスコミや一般市民への啓発が先行して、医療側にとって十分にこの疾患(病態)を知る機会が乏しいのが現状です。今回、RLS/PLMS について、その歴史的な研究の流れとともに、現時点でわかっていることとわかっていないことを明らかにし、神経生理学の視点から解決していかなければならない課題を皆で見つけていきたいと思っております。是非ともお誘いあわせの上ご来場下さい。